

## 平成26年度 第2回公立大学法人鳥取環境大学経営審議会 議事要旨

- 日 時 平成26年6月26日(木) 10:00~11:50
- 場 所 鳥取環境大学 大会議室(本部講義棟3階)
- 出席者 高橋一委員、河原正彦委員、三野徹委員、若原道昭委員、岡部哲彦委員  
林田英樹委員、吉田圭子委員、渡邊良人委員、 [8名/10名]  
松本美恵子監事
- 欠席者 藤縄匡伸委員、山田憲典委員  
葉狩弘一監事

### 【議事】

- 1 前回及び前々回議事要旨の確認  
原案のとおり了承。

- 2 報告事項

- (1) 近況報告

資料に基づき、在籍者状況、就職活動状況、その他近況について報告があった。

- (2) 平成27年度入試について

資料に基づき、平成27年度入試について報告があった。

- 2 審議事項

- (1) 平成25年度決算について

資料に基づき説明があり、審議の結果、原案のとおり承認された。

主な意見等は次のとおり(○:質問・意見、→:回答 以下同様)。

○他大学と比較して人件費比率が低いという資料があるが、人材確保で問題とならないか。また、建築関係の費用の高騰、人手不足の状況にあるが、具体的な問題は生じていないか。

→若い研究者が表に出にくいなど大都市に比べると条件が良くないこともあり、給与についてはこれから考えていかないといけない。

→本学では実験研究棟の建築を控えている時期で、ちょっと心配はしている。

○参考資料と財務諸表の収入・支出のどこを照らし合わせればいいのかわからない。

→財務諸表は公立大学法人会計特有のルールで作られており、一般の企業会計とは固定資産と減価償却費に関する考え方が異なっている。参考資料はわかりやすくするために作成したものと理解していただきたい。最終的な利益としては財務諸表に記載のものが正しい。

○最終的に213百万円の利益が出ているが、交付金をもらいながらの利益はどう考えればいいのか。

→利益の処分については、6年後に設置者に返還すべき利益である通常の積立金と大学の経営努力による利益で大学で自由に使える目的積立金とに区別している。目的積立金は、昨年度は109百万円、本年度はそれに212百万円余が上乗せになる。これらの利益を設置者側がどう判断するかという問題は当然出てくる。大学としては実験研究棟の整備やそれに伴う実験機器の整備など多額の支出が控えており、それらの財源に充てることを計画しており、その点について設置者側の理解は得られている。

○大学ではないが、国の所管する他の独立行政法人では、最初の5年間は自助努力により捻出した利益の活用も許されたが、次の5年間は全く考慮されなかったという経験がある。ここ2、3

年入学者も多く調子がいいが、いつまでも継続するのは容易なことではなく、大学としての売り物をどうするのか意識し、将来のために有効活用してほしい。

→平成24年度から4年間は、運営交付金や職員定数なども固まっている。平成28年度以降に向けて、これから設置者との協議が重要になっていくと考えている。

## (2) 平成25年度業務実績について

資料に基づき説明があり、審議の結果、原案のとおり承認された。

主な意見等は次のとおり。

○多分野で幅広く頑張っておられるのはよくわかり、引き続きお願いしたい。研究中心ではなく教育の改善につながる努力も大切。学長から説明のあったアメリカの大学との交流も意義があると思うし、例えば今問題となっている中国の環境問題などの分野で活躍する教員があれば、大学への期待や評価につながっていくのではないかと感じる。

○退学率16.6%とあるが、中国地方の私立大学協会のまとめでは平均3.3%、高いところでも9.4%であり、異常に高いと感じる。

→16.6%は平成25年度の4年生について4年間の累積で計算したもので、おそらく私大協と同じ計算の仕方をすればその4分の1の4.15%程度になると思われる。本学の計算方法による公立化確定後に入学した今年度の4年生の3年時点での退学率は5.7%であり、あと1年分を考慮しても大幅に改善される見込みである。

○就職支援の項目で、就職率の92.6%に対して自己評価2となっているが、中国地方の国公立を含めたすべての大学の就職率92.8%に対しても遜色なく、評価が低すぎるようにも感じた。

○業務実績の説明とあるが、自己点検評価のような感じがする。どういう位置づけの文書なのか。→設置者への報告用資料であり、これをもとに設置者が外部の評価委員会の評価を受けることになる。設置者が定めた中期目標を達成するために大学が策定した中期計画の年度ごとの項目の実績がどうであったかを評価した資料となるので、一般的な予算に対する事業計画といった位置づけとは異なる。

## (3) 平成26年度補正予算について

資料に基づき説明があり、審議の結果、原案のとおり承認された。

## 4 その他

### (1) 平成26年度公立大学法人鳥取環境大学経営審議会の開催日程について

今後の経営審議会の日程について確認した。